

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第4号



(一社)朝霞地区薬剤師会
 発行人: 広報委員長 細川 玄機
 〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号
 TEL:048-483-4125 FAX:048-483-4126
 asaka-ph@asakaph.or.jp

第4回定時社員総会・懇親会 5月31日

5月31日(木)シティ・イン北朝霞にて、参加者23名、委任状等116名で第4回定時社員総会が開催されました。次第に沿って報告・質疑応答の後、第1号議案から第4号議案について採決が行われ、多数の賛成を得てすべて承認されましたことをご報告いたします。

たくさんの事業報告や委員会報告からは、埼玉県や4市行政、県薬剤師会や地区医師会・歯科医師会との連携も含め、活動の幅が多岐にわたりパワーアップした印象を受けました。一般社団法人としての朝霞地区薬剤師会が、公の中に認知されたと実感するとともに、これもひとえに会員の皆様のご支援・ご協力の賜物と、あらためて感謝申し上げます。

昨年度、薬剤師の役割を広く周知し、地域に役立つ事業をと意識した取り組みの1つは市民フォーラムです。第2回目となる今年は、「知って得するくすりの話」をテーマに、



9月2日(日)「ふるさと新座館」で開催いたします。

地域連携では、2月に在宅医療対応薬局のリスト化を行い、第一版1,500部を関連機関に配布いたしました。今年度は9月に改訂版を発行する予定で、ただ今準備をしているところです。

全国初の取り組みでもあるポリファーマシー対策事業については、昨年度新座市でパイロットスタディを行い、今年度は埼玉県の委託事業として、朝霞地区の行政との調整を図りながら粛々と進めているところです。

今後も、薬剤師の地位向上、薬剤師の地域貢献を目指し、皆様のご意見を採り入れつつ、いろいろな活動を企画・推進していく予定であります。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

総会終了後は、シティイン北朝霞地下の「魚とや」に移動しての懇親会、活発な情報交換に会員相互の親睦を深めながら、楽しい時間を過ごすことができました。

ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

(朝霞支部長 渡邊 美知子・あさか台わたなべ薬局)



ポリファーマシー対策事業進捗状況

今年度のポリファーマシー対策事業は、6月29日にスタート会議が開催され、事務局となる県薬務課、4市行政担当者、新規参加の協会けんぽ、事業受託者の県薬剤師会、東京大学今井教授、医師会、薬剤師会、合わせて39名の方々にご参加くださいました。

県薬務課から事業概要説明、薬剤師会から取り組み内容の説明に続き、各行政から「データの取り扱い」についてさまざまなご意見を伺いました。現在、2つのデータ抽出方法で各市と調整を進めております。

医師会村山会長からは、市民への周知や病院薬剤師との連携が必要であるとの指摘がありましたが、レセプトデータを上手に活用することが重要で、かつ患者にとっても有意義であるというご意見と共に、今年度も協力しますと力強いお言葉をいただきました。

7月10日開催の事前説明会には、40人の薬局薬剤師と7施設の病院薬剤師の参加があり、活発な意見交換も行われました。

さまざまな組織との連携事業の難しさを感じつつ、地域を担う薬剤師として、この事業の成功を目指し必要な準備を進めて参ります。引き続きご協力をお願い致します。

(和光支部長 清水 勝子・新倉健康薬局)

地域医療介護情報ネットワークシステム 「けやきのわ」のご案内

今年度、(独法)国立病院機構 埼玉病院の地域医療介護情報ネットワークシステム「けやきのわ」が始まります。これは患者様の同意の下で、インターネットを利用し、医療機関・介護施設・行政等が情報を共有するシステムのことで、薬局での導入により、服薬指導の充実・安全性の向上などが期待されています。インターネット環境があれば導入の費用はかかりません。是非、加入の検討をお願いします。

(地域連携委員長 織田 朋久・あおぞら薬局)

詳しい資料は
 当会ホームページ
 会員専用ページで
 ご覧ください。



特別委員会設置

今年度、新たに委員会が2つ設置されました。

ポリファーマシー 対策事業委員会	畑中 典子	清水 勝子、須田 友子、大八木 実、喜納 美枝、 村越 達子、松本 裕司、小林 友之、武笠 真由美 渡邊 美知子（オブザーバー）、事務局
市民フォーラム 実行委員会	須田 友子	渡邊 美知子、平田 修士、内野 裕嗣 細川 玄機、松永 みどり



市民フォーラムご案内 9月2日（日）開催

9月2日（日）12：30～16：00、ふるさと新座館において「第2回市民フォーラム」を開催いたします。今回のテーマは「知って得するくすりの話（毎日飲む薬について薬剤師に聞いてみよう）」です。

ホールでは、社会福祉法人和光福祉会理事長 関塚永一先生（元埼玉病院院長）をお招きし、「より良い医療を受けるために」についてご講演をいただきます。他に当会理事2名が、老人会や地域集会所などでも行っている『お薬の正しい飲み方』を市民フォーラム向けに編集して発表、有志による寸劇では、お薬の正しい飲み方や失敗しない飲み方について、笑いを交えて披露します。

ロビーでは、お薬相談、ジェネリック医薬品の普及コーナー、ゾウキリン（新座市ゆるきゃら）など楽しいブースも用意し、市民の皆さまと交流を深める予定です。ご協力よろしくお願ひいたします。（新座支部長 須田 友子・須田薬局）



協力薬剤師募集中！
地域活動協力証明書
発行します。



ポリファーマシー対策事業：クライテリア活用のためのワークショップにご参加ください。

今回のワークショップでは、対象患者抽出データに記載された薬剤について、クライテリアの一覧を利用して聞き取り内容を面談シートに書き出す方法を中心に学習します。

例えば、「芍薬甘草湯エキス」であれば、クライテリア一覧に記載された理由から、低カリウム血症への注意事項として、むくみ、血圧上昇、不整脈などはないか、服用期間、改善の様子について、聞き取りが必要であることを、事前に面談シートに書き出しておくということです。

患者の処方内容とクライテリアを読み込み、聞き取り用のワークシートを作成することは、慣れるまでは時間もかかり大変な作業ですが、薬剤師としての資質向上にも必ず役立つと思います。

グループディスカッションをしながら、その手法を取得していただくためのワークショップです。薬剤師として自信を持って患者情報提供書を作成できるようになるためにも、ぜひご参加ください。

（和光支部長 清水 勝子・新倉健康薬局）

開催日程：場所：志木ふれあいプラザ

・第1回 8月28日（火） 19:30～21:30

・第2回 9月15日（土） 18:30～20:30

2回とも同じ内容です。



ポリファーマシーとクライテリア

現在進行している、ポリファーマシー対策事業では薬局薬剤師がクライテリアをどこまで活用できるかが一つのキーポイントとなります。

クライテリアとは、「判断基準」と言う意味です。

「Beers Criteria」は、高齢者における「潜在的に不適切な医薬品」をスクリーニングするツールとして、マーク・ピアーズ医師が提唱した薬の一覧です。他にも、STOPP&START、日本版ピアーズ、日本老年医学会などのクライテリアがあります。

今回の事業では、データベース化されたこれらの判断基準を用いて、理論上は問題ありとされる処方を抽出します。その上で相談を希望する患者に薬剤師が面談を行い、介入の必要性を判断した上で医師に情報提供を行います。処方意図を把握しつつ、患者の状況を確認し、

この判断基準（クライテリア）の妥当性を検討するという作業は、薬剤師本来の業務として、大変ですがやりがいもあります。

（会長 畑中 典子・かくの木）



学術研修会報告 5月22日

平成30年度第1回学術研修会は、昨年度より開始した吸入指導研究会の4回目として、5月22日(火)開催されました。

今回は、すぎたこどもクリニック院長 杉田正興先生をお迎えして、喘息の病態や、2017年11月改訂された小児喘息ガイドラインに沿った治療の詳細、重症度の評価、治療方針、用いられる薬剤、小児の年齢による薬物療法の詳細などを学びました。

アストラゼネカ株式会社のご協力をいただき、パルミコート製の製剤説明及び、推奨される吸入補助具や、オムロンの各種ネブライザーでの対応薬剤の知識を得ることが出来ました。

また、これまで3回の研究会出席者のアンケートより、各デバイスによるピットホールの復習もすることが出来ました。今期もあと2回の研究会を予定しています。

皆さま、吸入マイスターを目指して頑張りましょう！

(学術委員会委員 大倉 裕子・あさか薬局)



実務実習がスタートしました。



5月7日より今年度の実務実習がスタートしております。学生さん達の真面目に話を聞く姿に、こちら側が襟を正す毎日です。学生実習にご興味のある方や実習の受け入れをお考えでしたら、お気軽にお声掛け下さい

(実務実習委員長 平田 修士・フラワー薬局)

保険制度研修会 6月19日

第1回保険制度委員会研修会は、6月19日(火)参加者50名で開催されました。

初めに、朝霞保健所の安田恭子氏による「難病患者支援の実際」について事例を交えながらの講演。在宅医療における難病患者に対する薬剤師の関わり合い、そして難病相談支援センター、難病対策地域協議会、難病医療連絡協議会の在り方、更に「災害時対策チェックリスト」などについてお話をいただきました。在宅医療を必要としている難病患者は年齢問わず様々で、介護保険(居宅療養管理指導料)の対象外であっても医療保険(在宅患者訪問管理指導料)で服薬支援など対応することができます。薬剤師としての役割を拡充していく事が大切です。

続いて、株式会社スズケンの吉田いずみ氏による「4月からの調剤報酬改定についてのQ&A」についての講演。4月以降、厚生労働省から出てきたQ&Aや、関東信越厚生局に報告するための事項などについてお話をいただきました。

調剤報酬は薬剤師として重要な評価であり、それに伴い薬剤師法や療養担当規則など遵守することが保険薬局・薬剤師としての責務と考えます。

9月には、「コンプライアンス(法令厳守)」をテーマに研修会の開催を予定しております。ぜひご参加ください。

(保険制度委員長 大八木 実・フレンド薬局)



薬剤師会事務所・研修室 皆様もぜひご利用ください！

薬剤師会事務所は、平成28年5月に朝霞市西弁財に移転しました。現在のオープン時間は、週2日(月・木)9時から17時までですが、他の曜日・時間帯にも、各委員会の会議や打ち合わせ、研修会の準備など幅広く利用されています。

事務室には、デスクトップPC2台、ノートPC、プロジェクター、コピー複合機各1台、カラープリンタ2台、研修室には、折り畳み長テーブル3卓、座布団などが設置されています。

事前にお申込みいただければ、会員の皆様もご利用することができます。勉強会、サークル活動などにぜひご利用ください。



朝霞市西弁財1-10-21 ブリランテ朝霞台312号
JR北朝霞駅から徒歩4分
東武東上線朝霞台駅から徒歩2分
駐車場なし(近くにコインパーキングあり)

月・木にお休みをいただくこともあります。
事前にお電話してからいらしてくださいね！
(事務局 野中 浩美)



おすすめの本

死を生きた人びと

訪問診療医と355人の患者

小堀鷗一郎著(みすず書房)

新座市南部にある堀ノ内病院は、小島武設立理事長の理念でもある、地域に出て行く医療をモットーに、30年以上も前から在宅訪問診療を行ってきました。国立国際医療センター病院長であった、著者の小堀鷗一郎医師は小島理事長と大学の同期という関係で、退職後の勤務先を新座市と決め、訪問診療医として355人の看取りに関わられました。まさにこれからの地域医療の課題である在宅看取りの現実がこの本から見えてきます。



2018.6.10付けの毎日新聞書評にも大きく取り上げられました。

(会長 畑中 典子 かくの木)



さよなら未来

エディターズ・クロニクル 2010-2017

若林恵・著(岩波書店)



音楽市場の話から原子力発電の基礎技術まで幅広いテーマを論じる中で「なぜ働くのか?」「会社とは何か?」「自分が今の仕事を選んだ原体験とは何か?」など、自分自身の頭でも考えたいヒントが散りばめられています(考えさせられる、ではなく)。一気に読みよりも、空いた時間に少しずつじっくり読むのがおすすめです。

ちなみに、みすず書房のメールマガジンを定期購読して、どんなジャンルでもいいので興味の湧いた本を選んでじっくり読むという習慣を持つと、思考の奥行きが増すのではないかと思います。

(写真・文 志木支部長 田代 健・地球堂薬局)

健康まつり 協力薬剤師募集中!

平成30年度4市健康まつりは、以下の日程で開催されます。ご協力よろしくお願いいたします。

- ・朝霞市防災フェア 9月30日(日) 9:00~13:00
朝霞の森 おくすり相談、熱中症予防対策指導など
- ・朝霞市健康まつり 11月23日(金) 10:00~15:00
わくわくドーム 血流測定、キッズファーマシーなど
- ・志木市健康まつり 10月14日(日) 9:00~15:00
志木市健康増進センター 血管年齢測定、お薬相談など
- ・新座市健康まつり 10月21日(日) 9:00~13:00
新座市健康センター お薬相談、キッズファーマシー
- ・和光市BOSAIフェア 10月21日(日) 10:00~13:00
樹林公園 災害時のおくすり手帳の有用性啓発など
- ・和光市健康フェア 11月11日(日) 10:00~15:00
和光市保健センター お薬相談、キッズファーマシー



参加申込書



俳句を楽しむ

(理事 松永 松永 仁淡
松永 仁・松栄堂薬局)

隣家にも
行くに日傘で
回覧板

掌に
玉虫置きて
吉を待つ

夜の秋
柱時計の
音澄みて

「皆様からの投稿もお待ちしております。」

健康まつりなどの行事にご協力いただいた方には、地域活動参加証明書発行します!



編集後記

いよいよ夏本番を迎え、うだるような暑さが続きますが、皆様には暑さに負けず日々奮闘されていることとお察しいたします。

実務実習第1期が終わり、私事ですがほっと一息ついたところです。実務実習生の息抜きに、例年、知り合いの薬剤師からもらった明治36年の院外処方箋のコピーを配り、処方内容を読ませています。その中に「蕃木鼈越幾斯」とありますが、この3年間、誤った読み方を教えていたことに先日気づきました。皆さんは読むことができますか?

(広報委員長 細川 玄機・三原薬局)



(一社) 朝霞地区薬剤師会
〒351-0021

朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL : 048-483-4125

FAX : 048-483-4126

E-mail

asaka-ph@asakaph.or.jp

